

LAN アクライザーの導入(12)

—TELEFUNKEN L-21—

1. 始めに

前報(11)に引き続き、スピーカーシステムを替えて LAN アクライザーの効果を確認することにします。

2. LAN アクライザーLACU-1 の試聴計画

今回は、TELEFUNKEN L-21 で試聴します。この最新の状態は、サブシステムの再構成(12)とスピーカーアクライザーの活用(8)で報告していますが、今回は、駆動アンプを Rogers Cadet III に替えてみます。

音源は STAGE+ に限定して PC 経由で再生し、スイッチングハブから PC への LAN リベラメンテに LAN アクライザーを装着します。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

3. LAN アクライザーLACU-1 の試聴結果

上記の方法で LAN アクライザーなしで聴いておき、LAN アクライザーを装着して聴き直していきます。

今回は、前報(10)の経験を活かし、Rogers Cadet III のトーンコントロールの調整を行ってから LAN アクライザーの効果を確認していきます。

ベートーヴェンのピアノソナタでは、トーンコントロールの調整でバランスをとった上で LAN アクライザーを装着することにより、サイズの割にはスケール感も出せ、緻密な表現も可能になりました。

バッハのクリスマスオラトリオでは、トーンコントロールの調整でバランスをとった上で LAN アクライザーを装着することにより、古楽器の質感やソリストの声

の質感が向上しますが、サイズの的には編成の大きさに見合う表現は無理なところがあります。

シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」では、トーンコントロールの調整でバランスをとった上で LAN アクライザーを装着することにより、こぢんまりとまとまった再生となり、コントラバスの量感も幾分かは出るようになりました。

バッハ無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータでは、トーンコントロールの調整でバランスをとった上で LAN アクライザーを装着することにより、滑らかな音でのボウイングの表現ができました、

4. まとめ

TELEFUNKEN L-61 のシステムにおいても LAN アクライザーの効果を認めました。

以上